

著者から査読投稿料を徴収するオープンアクセス形式の学術誌の中に、“ハゲタカジャーナル(粗悪学術誌)”という悪質なジャーナルが増えています。著者や著者の所属研究機関の評価・信頼性を守るために、執筆した論文を投稿する際は、投稿先の選択にご注意ください。

## ハゲタカジャーナルとは？

権威のある学術雑誌や学会の名を騙り、著者を騙して高額な投稿料を取ることを目的としています。掲載される論文は査読が不適切または全く行われない等、問題がある場合があります。

## ハゲタカジャーナルに投稿するとどうなりますか？

掲載料の支払い後、  
ジャーナルと  
連絡がつかない…  
騙された！



査読が充分でない不備のある論文で、**学術的な混乱**が生じる

研究者や研究団体の**評価・信頼**が低下する

**投稿料に関するトラブル**の発生が報告されている

廃刊により論文がオンラインから消失することがあり、  
**長期的なアクセス**が担保されない

投稿後にハゲタカジャーナルと気づいても  
**論文の撤回**が認められないことがある

健全な学術誌へ再投稿は、二重投稿という**研究不正**となる

若手研究者が標的に！

## ハゲタカジャーナルの特徴は？

執拗に投稿を勧誘される

査読から出版までが短期間すぎる

雑誌の名称・ロゴが別の雑誌と酷似

サイトに出版社の連絡先や所在地がない

投稿料・請求時期が明記されていない

掲載分野やテーマの記載がない

編集や査読に関する情報が少ない

実在のジャーナルを騙る  
“偽ジャーナル”が  
報告されています。

## ハゲタカジャーナルを見分けるには？

健全なジャーナルを掲載した「ホワイトリスト」が参考になります。

[DOAJ \(Directory of Open Access Journals\)](#)

厳しい判断基準を通ったオープンアクセス学術誌が収録。

[Web of Science: Master Journal List](#)

収録雑誌の選定基準があり、収録されている雑誌は、判断の参考になる。

## 投稿する前に、投稿先の信頼性をセルフチェック！

ハゲタカジャーナルへの投稿を避けるために、**チェックリスト**を活用しましょう。チェックリストで投稿先の信頼度を確認できます。

[Think Check Submit](#)

学術出版業界の有志による信頼できる学術雑誌への投稿を支援するキャンペーンサイト。[\(日本語版サイト\)](#)